

(旧)

新旧対照表

(新)

品質管理試験基準・規格値

| 工種 | 種別 | 試験区分 | 試験項目 | 試験方法 | 試験基準 | 品質規格値 | 摘要 |
|--|------------------|--------|-------------------|----------------------|--|---|---|
| セ メ ン ト ・ 工 コ ン ク リ ー ト | 施 工 試 験 | 必 須 | 塩化物 総量規制 | 「コンクリートの耐久性向上対策」による。 | 鉄筋コンクリート重要構造物に適用する。 測定回数は、打設が午前・午後にまたがるときは1日に2回以上(午前・午後)半日の場合は1回とする。コンクリートの種類(材料・配合)等や工場が変わる場合は、その都度1回以上測定する。 1試験の測定回数は3回とし、試験の判定は3回の測定値の平均値で行う。 | 原則0.3kg/m以下 | |
| | | | スランブ 試験 | JIS A-1101 | 圧縮強度試験用供試体の採取時及びコンクリートの打ち込み中に品質の変化が認められたときに行う。 | スランブ 3cm以上8cm未満 :許容差±1.5cm 8cm以上18cm以下 :許容差±2.5cm | |
| | | | コンクリートの圧縮 強度試験 | JIS A-1108 | 重要構造物(注:参照)について、鉄筋コンクリートは打設日1日につき2回(午前・午後)無筋コンクリートは打設日1日につき1回以上行う。 重要構造物以外の基礎コンクリート、練石積(張)の同込コンクリート等は1工事当たり50m ³ 以上1回、また、50m ³ 増す毎に1回の割合で実施する。50m ³ 未満の場合は省略することができる。 <u>テストピースは打設場所</u> で採取し、 <u>1回につき原則として6個(1週3本、4週3本)とする。</u> | 1回(供試体3本の平均値)の試験結果呼び強度の値の85%以上。かつ3回の試験結果の平均値は呼び強度以上。 | 任意の材齢の圧縮強度から材齢28日の圧縮強度を推定する場合は附図-1により参考とすることができる。 |

品質管理試験基準・規格値

| 工種 | 種別 | 試験区分 | 試験項目 | 試験方法 | 試験基準 | 品質規格値 | 摘要 |
|--|------------------|--------|-------------------|----------------------|---|---|----------------------------|
| セ メ ン ト ・ 工 コ ン ク リ ー ト | 施 工 試 験 | 必 須 | 塩化物 総量規制 | 「コンクリートの耐久性向上対策」による。 | 鉄筋コンクリート重要構造物に適用する。 測定回数は、打設が午前・午後にまたがるときは1日に2回以上(午前・午後)半日の場合は1回とする。コンクリートの種類(材料・配合)等や工場が変わる場合は、その都度1回以上測定する。 1試験の測定回数は3回とし、試験の判定は3回の測定値の平均値で行う。 | 原則0.3kg/m以下 | |
| | | | スランブ 試験 | JIS A-1101 | 圧縮強度試験用供試体の採取時及びコンクリートの打ち込み中に品質の変化が認められたときに行う。 | スランブ 3cm以上8cm未満 :許容差±1.5cm 8cm以上18cm以下 :許容差±2.5cm | |
| | | | コンクリートの圧縮 強度試験 | JIS A-1108 | 重要構造物(注:参照)について、鉄筋コンクリートは打設日1日につき2回(午前・午後)無筋コンクリートは打設日1日につき1回以上行う。 重要構造物以外の基礎コンクリート、練石積(張)の同込コンクリート等は1工事当たり50m ³ 以上1回、また、50m ³ 増す毎に1回の割合で実施する。50m ³ 未満の場合は省略することができる。 <u>テストピースは1回につき6個(1週3本、4週3本)とする。</u> | 1回(供試体3本の平均値)の試験結果呼び強度の値の85%以上。かつ3回の試験結果の平均値は呼び強度以上。 | 供試体の試料は荷卸し場所にて採取し、標準養生とする。 |

(旧)

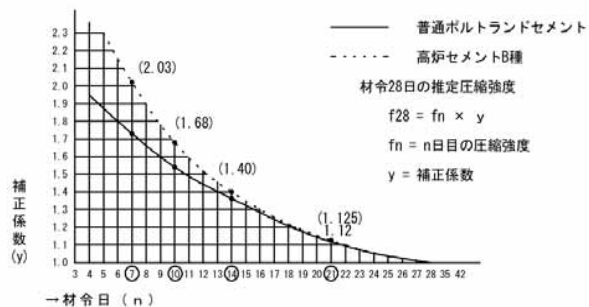
新旧対照表

(新)

品質管理試験基準・規格値

| 工種 | 種別 | 試験区分 | 試験項目 | 試験方法 | 試験基準 | 品質規格値 | 摘要 | |
|--------|-----|------|------------------------|--|--|---|----|--|
| セメント・工 | 施 | 必 | 空気量測定 | J I S A - 1 1 1 6 A - 1 1 1 8 A - 1 1 2 8 | 圧縮強度、曲げ強度試験用供試体採取時及びコンクリート打ち込み中に品質の変化が認められたとき。 | 許容差 ± 1.5% 但し、道路橋床版の場合、± 1%とする。 | | |
| | | | | | | | | 任意の材齢の圧縮強度から材齢 28 日の圧縮強度を推定する場合は附図 - 1 により参考とすることができる。 |
| | 試 | 須 | シュミットハンマーによる試験 | コンクリート標準示方書 (基準編) | コンクリート標準示方書(基準編)「硬化コンクリートのテストハンマー強度の試験方法」による。 | | | |
| コンクリート | その他 | 試 | コンクリートの曲げ強度試験 | J I S A - 1 1 0 6 | コンクリート舗装の場合に適用し、打設日毎に 2 回 (午前・午後) に行う。なお、テストピースは打設場所にて採取し、1 回につき原則として 3 個 (4 週強度 3 本) とする。 | 1 回 (供試体 3 本の平均値) の試験結果は、呼び強度の 85% 以上、かつ 3 回の試験結果の平均値は呼び強度以上。 | | |
| | | | コンクリートから切り取ったコアによる強度試験 | J I S A - 1 1 0 7 | 品質に異常が認められた場合に行う。 | 設計図書による。 | | |
| | | | コンクリートの洗い分析試験 | J I S A - 1 1 1 2 | 品質に異常が認められた場合に行う。 | 設計図書による。 | | |

附図 1 材令任意の圧縮強度による材令 28 日の圧縮強度の推定

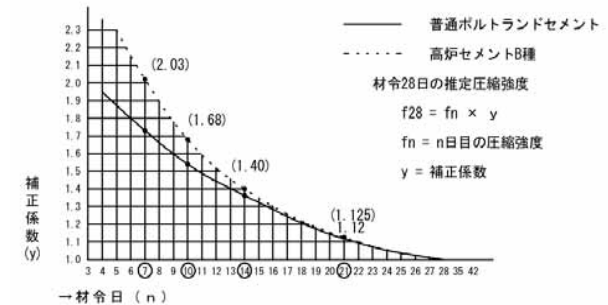


注：重要構造物とは PC 桁（工場製作桁は除き、間詰・横桁は含む）、鋼橋の PC 床版、RC 橋、井筒、水門、樋門等、擁壁（高さ 2 m 以上）治山工事の本堤及び副堤、その他上記に類するもののほか、特記仕様書に示す構造物。

品質管理試験基準・規格値

| 工種 | 種別 | 試験区分 | 試験項目 | 試験方法 | 試験基準 | 品質規格値 | 摘要 | |
|--------|-----|------|------------------------|--|--|---|----------------------------|--|
| セメント・工 | 施 | 必 | 空気量測定 | J I S A - 1 1 1 6 A - 1 1 1 8 A - 1 1 2 8 | 圧縮強度、曲げ強度試験用供試体採取時及びコンクリート打ち込み中に品質の変化が認められたとき。 | 許容差 ± 1.5% 但し、道路橋床版の場合、± 1%とする。 | | |
| | | | | | | | | 任意の材齢の圧縮強度から材齢 28 日の圧縮強度を推定する場合は附図 - 1 により参考とすることができる。 |
| | 試 | 須 | シュミットハンマーによる試験 | コンクリート標準示方書 (基準編) | コンクリート標準示方書(基準編)「硬化コンクリートのテストハンマー強度の試験方法」による。 | | | |
| コンクリート | その他 | 試 | コンクリートの曲げ強度試験 | J I S A - 1 1 0 6 | コンクリート舗装の場合に適用し、打設日毎に 2 回 (午前・午後) に行う。なお、 <u>テストピースは 1 回につき 3 個 (4 週強度 3 本) とする。</u> | 1 回 (供試体 3 本の平均値) の試験結果は、呼び強度の 85% 以上、かつ 3 回の試験結果の平均値は呼び強度以上。 | 供試体の試料は荷卸し場所にて採取し、標準養生とする。 | |
| | | | コンクリートから切り取ったコアによる強度試験 | J I S A - 1 1 0 7 | 品質に異常が認められた場合に行う。 | 設計図書による。 | | |
| | | | コンクリートの洗い分析試験 | J I S A - 1 1 1 2 | 品質に異常が認められた場合に行う。 | 設計図書による。 | | |

附図 1 材令任意の圧縮強度による材令 28 日の圧縮強度の推定



注：重要構造物とは PC 桁（工場製作桁は除き、間詰・横桁は含む）、鋼橋の PC 床版、RC 橋、井筒、水門、樋門等、擁壁（高さ 2 m 以上）治山工事の本堤及び副堤、その他上記に類するもののほか、特記仕様書に示す構造物。

(旧)

新旧対照表

(新)

品質管理試験基準・規格値

| 工種 | 種別 | 試験区分 | 試験項目 | 試験方法 | 試験基準 | 品質規格値 | 摘要 |
|---------------|------|------------------------|------------------|---|---|---|---|
| 覆工コンクリート・NATM | 施工 | 必 | コンクリートの圧縮強度試験 | JIS A-1108 | 現場練コンクリートの場合： (a)圧縮強度の試験値が、設計基準強度の80%を1/20以上の確率で下回らない。 (b)圧縮強度の試験値が、設計基準強度を1/4以上の確率で下回らない。 なお、ここで言う試験値とは、同時に作った3本の供試体の平均値のことである。 | 鉄筋コンクリートは打設日1日につき2回(午前、午後)以上無筋コンクリートは打設日1日につき1回以上行う。 なお、テストピースは打設場所にて採取し、1回につき6個(7日強度3本、28日強度3本)とする。 | レディミクスコンクリートの場合、1回の試験(供試体3本の平均値)結果は呼び強度の値の85%以上、かつ3回の試験結果は呼び強度以上。 |
| | | | 空気量測定 | JIS A-1116 A-1118 A-1128 | 圧縮強度、曲げ強度試験用供試体採取時及びコンクリート打ち込み中に品質の変化が認められたとき。 | 許容差 ±1.5% 但し、道路橋床版の場合、±1%とする。 | |
| | | シュミットハンマーによる試験 | コンクリート標準示方書(基準編) | コンクリート標準示方書(基準編)「硬化コンクリートのテストハンマー強度の試験方法」による。 | | 任意の材齢の圧縮強度から材齢28日の圧縮強度を推定する場合は附図-1により参考とすることができる。 | |
| | その他 | コンクリートから切り取ったコアによる強度試験 | JIS A-1107 | 品質に異常が認められた場合に行う。 | 設計図書による。 | | |
| | | コンクリートの洗い分析試験 | JIS A-1112 | 品質に異常が認められた場合に行う。 | 設計図書による。 | | |
| 吹付コンクリート・NATM | 材料試験 | 必須 | アルカリ骨材反応対策 | 「コンクリートの耐久性向上対策」による | 覆工コンクリートに準ずる。 | 覆工コンクリートに準ずる。 | |
| | | その他 | 骨材のふるい分け試験 | JIS A-1102 | 覆工コンクリートに準ずる。 | 覆工コンクリートに準ずる。 | |

品質管理試験基準・規格値

| 工種 | 種別 | 試験区分 | 試験項目 | 試験方法 | 試験基準 | 品質規格値 | 摘要 |
|---------------|------|------------------------|------------------|---|---|---|---|
| 覆工コンクリート・NATM | 施工 | 必 | コンクリートの圧縮強度試験 | JIS A-1108 | 現場練コンクリートの場合： (a)圧縮強度の試験値が、設計基準強度の80%を1/20以上の確率で下回らない。 (b)圧縮強度の試験値が、設計基準強度を1/4以上の確率で下回らない。 なお、ここで言う試験値とは、同時に作った3本の供試体の平均値のことである。 | 鉄筋コンクリートは打設日1日につき2回(午前、午後)以上無筋コンクリートは打設日1日につき1回以上行う。 なお、テストピースは打設場所にて採取し、1回につき6個(7日強度3本、28日強度3本)とする。 | レディミクスコンクリートの場合、1回の試験(供試体3本の平均値)結果は呼び強度の値の85%以上、かつ3回の試験結果は呼び強度以上とする。 供試体の試料は荷卸し場所にて採取し、標準養生とする。 |
| | | | 空気量測定 | JIS A-1116 A-1118 A-1128 | 圧縮強度、曲げ強度試験用供試体採取時及びコンクリート打ち込み中に品質の変化が認められたとき。 | 許容差 ±1.5% 但し、道路橋床版の場合、±1%とする。 | |
| | | シュミットハンマーによる試験 | コンクリート標準示方書(基準編) | コンクリート標準示方書(基準編)「硬化コンクリートのテストハンマー強度の試験方法」による。 | | 任意の材齢の圧縮強度から材齢28日の圧縮強度を推定する場合は附図-1により参考とすることができる。 | |
| | その他 | コンクリートから切り取ったコアによる強度試験 | JIS A-1107 | 品質に異常が認められた場合に行う。 | 設計図書による。 | | |
| | | コンクリートの洗い分析試験 | JIS A-1112 | 品質に異常が認められた場合に行う。 | 設計図書による。 | | |
| 吹付コンクリート・NATM | 材料試験 | 必須 | アルカリ骨材反応対策 | 「コンクリートの耐久性向上対策」による | 覆工コンクリートに準ずる。 | 覆工コンクリートに準ずる。 | |
| | | その他 | 骨材のふるい分け試験 | JIS A-1102 | 覆工コンクリートに準ずる。 | 覆工コンクリートに準ずる。 | |

(旧)

新旧対照表

(新)

公的試験機関での品質管理試験の実施について

公的試験機関での品質管理試験の実施について

品質管理基準により義務付けられた品質管理項目のうち、次表に示す項目については、公的試験機関(注1参照)で試験を実施するものとする。

品質管理基準により義務付けられた品質管理項目のうち、次表に示す項目については、公的試験機関(注1参照)で試験を実施するものとする。

公的試験機関による品質管理試験項目一覧表

公的試験機関による品質管理試験項目一覧表

| 工種 | 試験項目 | 試験基準 | 適用 |
|----------------|--|--|--|
| セメント コンクリート | 圧縮強度試験 | 1)重要構造物(注3)の場合 鉄筋コンクリートは打設日1日につき2回(午前・午後)無筋コンクリートは打設日1日につき1回行う。 なお、供試体は1回につき6個採取(7日強度及び28日強度、各3本) 2)重要構造物以外の場合 1工事につき打設数量50m ³ 毎に1回行う。なお、供試体は1回につき3個採取(28日強度3本) 1工事の打設数量が50m ³ 未満については省略することができる。 | 供試体は打設場所 で採取し、現場養生 のうえ試験を行う。 |
| | 曲げ強度試験 | コンクリート舗装の場合に適用し、打設日1日につき2回(午前、午後) なお、供試体は1回につき3個採取(28日強度3本) | |
| 鋼材ガス圧接 | 引張試験 | 1)手動ガス圧接の場合 工事着手前に作製した試験片5本 2)自動ガス圧接の場合 工事着手前に作製した試験片2本 試験片の作製は鉄筋径毎に行う。 | 試験片の作製は、圧接者、圧接装置、鉄筋の端面処理、加熱時間等実際の作業と同一条件で行う。 |
| 河川・海岸・治山・道路土工 | 土の締固め試験 | 500m ³ 以上の盛土を行う工事で、当初及び土質の変化時の試験(路床と同一材料の路体盛土は、路床の品質管理試験のみでよい) | 河川、海岸、治山の盛土及び道路の路体盛土材に適用する。 |
| | 修正CBR試験 | 道路の路床工事の盛土材で、当初及び土質の変化時に行う試験。 | 土の締固め試験も必要。 |
| 路床置換工 | 置換材料の修正CBR試験 | 道路の置換材料について、当初及び材料の変化時に行う試験。 | |
| 転圧コンクリート舗装 | 曲げ強度試験 (作成供試体-現場施工) | 打設日1日につき2回(午前、午後)の、材齢28日の強度試験。 | 供試体は打設場所 で採取し、1回につき3個とする。 |
| アスファルト舗装 | コア密度測定試験 混合物のアスファルト量抽出試験 混合物粒度分析試験 | A・B工事(注4参照)について、車道の各層毎に1回、3個のコアを採取して行う試験。 但し、1工事(各層毎)の混合物の使用数量が50t又は舗設面積が400m ² 未満の場合は、省略することができる。 | 路肩、取付け道路は除く。 |
| | ホイールトラッキング試験 | 改質アスファルト使用の場合は、1工事につき1回(複数層に使用の場合各層毎)施工前に作成した3個の供試体で実施する試験。(注5参照) | |

| 工種 | 試験項目 | 試験基準 | 適用 |
|----------------|--|--|--|
| セメント コンクリート | 圧縮強度試験 | 1)重要構造物(注3)の場合 鉄筋コンクリートは打設日1日につき2回(午前・午後)無筋コンクリートは打設日1日につき1回行う。 なお、供試体は1回につき6個採取(7日強度及び28日強度、各3本) 2)重要構造物以外の場合 1工事につき打設数量50m ³ 毎に1回行う。なお、供試体は1回につき3個採取(28日強度3本) 1工事の打設数量が50m ³ 未満については省略することができる。 | 供試体の試料は荷卸し 場所にて採取し、 標準養生とする。 |
| | 曲げ強度試験 | コンクリート舗装の場合に適用し、打設日1日につき2回(午前、午後) なお、供試体は1回につき3個採取(28日強度3本) | |
| 鋼材ガス圧接 | 引張試験 | 1)手動ガス圧接の場合 工事着手前に作製した試験片5本 2)自動ガス圧接の場合 工事着手前に作製した試験片2本 試験片の作製は鉄筋径毎に行う。 | 試験片の作製は、圧接者、圧接装置、鉄筋の端面処理、加熱時間等実際の作業と同一条件で行う。 |
| 河川・海岸・治山・道路土工 | 土の締固め試験 | 500m ³ 以上の盛土を行う工事で、当初及び土質の変化時の試験(路床と同一材料の路体盛土は、路床の品質管理試験のみでよい) | 河川、海岸、治山の盛土及び道路の路体盛土材に適用する。 |
| | 修正CBR試験 | 道路の路床工事の盛土材で、当初及び土質の変化時に行う試験。 | 土の締固め試験も必要。 |
| 路床置換工 | 置換材料の修正CBR試験 | 道路の置換材料について、当初及び材料の変化時に行う試験。 | |
| 転圧コンクリート舗装 | 曲げ強度試験 (作成供試体-現場施工) | 打設日1日につき2回(午前、午後)の、材齢28日の強度試験。 | 供試体は打設場所 で採取し、1回につき3個とする。 |
| アスファルト舗装 | コア密度測定試験 混合物のアスファルト量抽出試験 混合物粒度分析試験 | A・B工事(注4参照)について、車道の各層毎に1回、3個のコアを採取して行う試験。 但し、1工事(各層毎)の混合物の使用数量が50t又は舗設面積が400m ² 未満の場合は、省略することができる。 | 路肩、取付け道路は除く。 |
| | ホイールトラッキング試験 | 改質アスファルト使用の場合は、1工事につき1回(複数層に使用の場合各層毎)施工前に作成した3個の供試体で実施する試験。(注5参照) | |

(旧)

新旧対照表

(新)

3 - (3)

コンクリート圧縮強度試験結果一覧表

| 番号 | 製作年月日 | 試験年月日 | 材令 | 設計基準 強度 | 圧縮強度 (N/mm ²) | | | 計 X | 平均 X | 摘 要 |
|----|-------|-------|----|------------|---------------------------|----------------|----------------|--------|---------|-----|
| | | | | | X ₁ | X ₂ | X ₃ | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |

注) 摘要欄には工種、採取ヶ所を記載する。
 注) 平均の最下段に4週試験の平均値を記入すること。

3 - (3)

コンクリート圧縮強度試験結果一覧表

| 番号 | 製作年月日 | 試験年月日 | 材令 | 呼び強度 | 圧縮強度 (N/mm ²) | | | 計 X | 平均 X | 摘 要 |
|----|-------|-------|----|------|---------------------------|----------------|----------------|--------|---------|-----|
| | | | | | X ₁ | X ₂ | X ₃ | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |

注) 摘要欄には工種、採取ヶ所を記載する。
 注) 平均の最下段に4週試験の平均値を記入すること。